

～ 令和6年度天皇誕生日レセプション: Emperor's Birthday Reception ～

2月28日水曜日に天皇誕生日祝賀レセプションを総領事公邸で開催しました。

昨年は小雨交じりの天候で、開催直前までやきもきしましたが、今年は打って変わって天候に恵まれ、青い空とシドニー湾を背景に、絶好のレセプション日和となりました。

館長としての二度目のナショナルデー・レセプションですが、手慣れた館員スタッフが滞りなく前日から設営の準備を進めてくれています。もちろん、今年も、小寺博文公邸料理人が食事には万全の用意をしてくれています。

村松貞治氏が指揮をとる、将来性豊かな若手演奏家から構成される Sydney Japanese Chamber Orchestra による日豪の国歌斉唱で、会が厳かに幕を開けます。村松氏は、Strathfield Symphony Orchestra の芸術監督で、昨年に続いて、このレセプションのために特別に指揮をとってくださいました。Strathfield 市から多くの市議や GM が参加してくれたことも嬉しいことでした。

私の挨拶に続いて、主賓のビーズリーNSW総督の挨拶、そして州首相の代理としてのチャンシボン貿易産業大臣の挨拶が行われました。ビーズリー総督からは、車いすマラソンにおける日本選手の活躍や、本年が80周年にあたるカウラ・ブレイクアウト(カウラ日本人捕虜集団脱走事件)への言及など、日本への深い造詣を示すお話を頂きました。

フランクリン上院議長、パイパー下院議長、野党党首、与野党議員などの州政府閣僚・議会議員、ブロック豪州準備銀行総裁、シドニー市副市長、日豪の経済・実業界関係者、文化・芸術・スポーツ・市民間交流を支える多くの関係者、各国総領事等領事団に参加をいただきました。



今回のレセプションの行事の一部として、ジョナサン・オデイ前NSW州下院議長への叙勲伝達式を行いました。同氏は、三井教育財団(MEF)が行う留学事業の一員としてかつて日本で研修をした経験を持つ知日派ですが、それに加え、下院議長時代に、NSW州議会におけるアジア太平洋友好議員連盟の会長として日本を含むアジア太平洋諸国との友好関係の増進に多大な貢献をされる

という功績をあげられました。今回、4人の御子息と御両親を含む御家族を前に、天皇陛下からの勲章と勲記を授与し、同氏の功績を称えることができたことは、私にとっても光栄かつこの上ない慶びでした。



昨年に続いて、多くの日本企業にもご協力を頂きました。アルファベット順でご紹介すると、ANA 全日空、富士フィルム、JAL日本航空、JTB、ライオン(麒麟ビール)、サッポロ・ビール、Nippon Food Supplies(宝酒造グループ)、トヨタ(水素車のミライを展示)、また、食料品の提供としてキッチンマン(寿司用の醤油)、NHフーズ(ローストビーフ用の大麦牛アンガス肉)、チーズケーキのルタオ(LeTAO)の各社の御協力を頂きました。さらに、秋田銘醸(秋田県湯沢市)と川鶴酒造(香川県観音寺市)の両酒造には、日本からわざわざお越しいただいて、地酒をふるまっていたいただき、そのコーナーに多くの人ばかりができていたのが印象的でした。

今回は、福島県産の日本酒に加え、年始の能登半島地震で被災をした石川県及び富山県の地酒を提供し、被災地支援への貢献に努めました。参加客の一人から、能登半島先端の珠洲市で酒蔵が被害を受けた宗玄酒造の純米大吟醸の提供に感動したとのコメントをいただきました。

ブラド・ヒロコ氏をはじめとする「生け花インターナショナルシドニー会」によるレシービングラインの生け花は素晴らしかったですし、ベネットめぐみ氏による盆栽のたたずまいも素敵でした。JETRO、CLAIR、JNTO といった政府関係機関にもブースを出して頂いて、オールジャパンでの発信ができたと思います。

そして小寺博文公邸料理人からは、専門の和食を中心にした料理を用意いただきました。第一弾として、サーモン昆布締め、大根煮つけ、Sydney Rock Oyster 南蛮漬け、第二弾として、海老天麩羅、ミニ焼き鳥、大麦牛サーロインのローストビーフ(NHフーズ提供)、フルーツ盛り合わせです。いずれも好評だったようで、200人分以上用意していた各品はあっという間に「完売御礼」状態だったようです。小寺料理人の優れた技量と繊細な盛り付けに敬意交じりの嘆息をしつつ、ここで一緒に仕事をできる御縁に恵まれたことに感謝しています。



今回のレセプションは、昨年を大きく上回る200余名の参加を得て、盛況のうちに、また無事に、実施することができました。心から嬉しく、また、安堵しています。

当日は、公邸内のスペースにはあまり人が残らず、大多数の方が屋外で歓談されていました。その様子を見て、「オーギーは屋外を好むのだなあ、今日は晴れて本当に良かった」とつくづく感じた次第です。

協賛をいただいた企業の皆さま、国家斉唱の指揮をとってくださった村松氏はじめ、御協力いただいた皆様、そしてもちろん招待を受けてご参加いただいたお客様皆さまに、改めて深く御礼申し上げます。

(以上)